

平成25年度
第2回 滋賀県渋滞対策協議会

これまでの経緯について

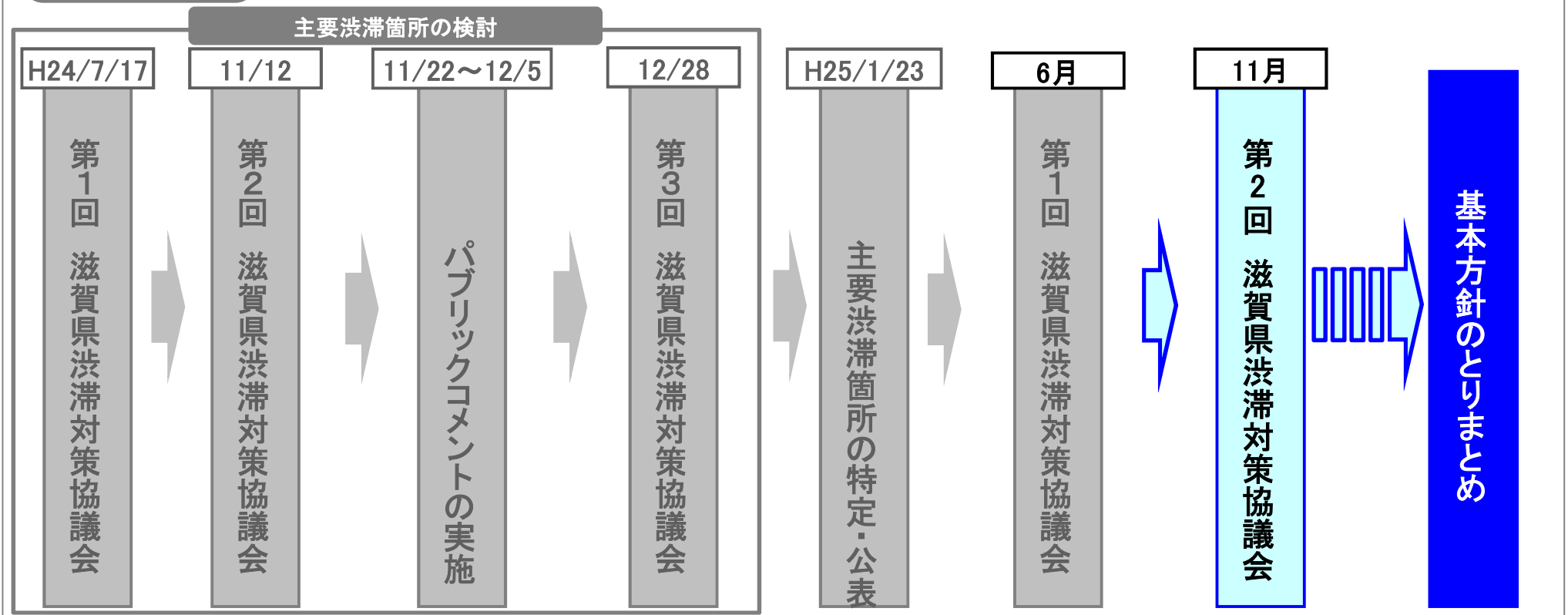
○これまでの経緯について

渋滞対策の方針

- 「今後の高速道路のあり方 中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 民間プローブデータが容易に取得可能となるなど、観測環境に大きな改善が見られること

課題の状況を継続的に把握・共有するとともに、新たな交通観測データの分析等により効果的な渋滞対策の推進に取り組む

渋滞対策検討の経緯



○第1回協議会における主なご意見への対応について

機関名	ご意見	ご意見への対応
近畿運輸局	運輸局として、公共交通の利用促進等、いくつかソフト対策を実施している。また、バス利用が多い路線の主要渋滞箇所に対応を検討して、バスの遅延が減少すれば、バスの利用促進に繋がる。	協議会で取り組みや実現性を議論
滋賀県トラック協会	甲賀地域は、工業団地関連の交通が多い地域である。物流交通の時間をずらすことはできないが、通勤交通の時間帯をずらすことは、検討の余地がある。特定の30分で局所的に渋滞しているので、時差通勤について今後検討していくことが考えられる。	協議会で取り組みや実現性を議論
中日本高速道路	10月下旬に新たにスマートICを設置する予定であるため、民間プローブデータを使って、効果を検証して情報提供していただきたい。	スマートIC供用後の民間プローブデータにより状況を確認し、協議会で情報を共有
滋賀県道路公社	対応方針の立案にあたって、何年後を見据えた方針なのか、どの程度の渋滞の緩和を目標とした方針なのか明確にする必要がある。長期的なバイパス整備だけでは、県民は、実感がわからない。	今後、協議会で渋滞状況や要因に関する議論を深め、よりわかりやすい対応方針を立案していく
	地域別の分け方は、ほんとにこれでよいのか？住民に近いものになっていないので、そういう表現にできないか	滋賀県等の関係機関と調整し、地域区分名称を見直し
中小企業団体中央会	滋賀県の道路予算は、全国的に低い水準である。対応方針で対策を提案しても道路予算がなければ対策が実施できないのではないか	協議会で議論を深め、予算確保に努めていく
滋賀県警察本部	民間プローブデータは非常に有益なデータがあるが、どういったデータか詳細を教えてください	資料4に掲載
滋賀県土木交通部道路課	対策の成果が見られないといった批判を受けないように進めていかなければいけない。PDCAを行うため、渋滞状況をモニタリングしていくことが重要である	今後、渋滞状況をモニタリングしていきながら、モニタリング結果の公表等について議論を進めていく